



INTERVIEW

福島で、実現する。

あなたが実現したいことは、なんですか？



行政事務

2021年度新規採用職員インタビュー

「大好きな福島県の

ポジティブなイメージを発信していきます！」

所属

農林水産部

農産物流通課

Q. 現在の仕事内容とそのやりがいについて教えてください。

A. 農産物流通課では、福島県産農林水産物の消費・販路拡大、流通対策、地産地消などの業務を行っています。

その中で私は、主に地産地消や食育事業を担当しており、特に食育事業では、県内の子ども達対象の食育活動を行う事業者に向けて補助事業を行っています。実施要領や申請様式の作成、書類審査や補助金の交付決定等、一から全て担当し大変ではありますが、やりがいを感じています。

Q. 福島県職員として、実現したいこと、目標としていること

A. 生まれ育った愛着のある福島県の印象を「震災」や「原発事故」といったネガティブなものではなく、「復興が着実に進む魅力あふれる県」といったポジティブなものに変えることです。震災や原発事故からの復興・発展に向けて挑戦を続ける福島県の「今」を支え、発信する業務に携わり、県内外の人々に「福島県って素敵だな」と思ってもらえるよう、初心を忘れずに仕事に取り組んでいきたいと思えます。

Q. どんな仕事が印象に残っていますか。

A. 東京で県産米を始めとする県産品のPRイベントを行った際、東京のお客様に「福島のお米を子どもが美味しいって食べるから、また買いにきたの」と笑顔でお話ししていただいたことです。福島の魅力が伝わったと嬉しく思いました。





Q. あなたをキーワードで伝える

としたら、どんな言葉が思い浮かびますか。

A. 「地産地消」「食育活動」「県産農林水産物のPR」
「音楽」「地元愛」「休日は最近買った車でドライブ」

Q. 「地産地消」について教えてください。

A. 生まれ育った大好きな福島のために働きたいと思い
県職員になりました。現在、地産地消に携わり、県産
農林水産物の魅力を県内の皆様に伝えることができ、
とても嬉しく思います。私も毎日福島のお米を食べて
います！

Q. 「音楽」について教えてください。

A. 小学1年生から高校3年生ままでピアノを習っており、高校では管弦楽部でトロンボーンを、大学ではケルト音楽でフィドルを演奏する等、音楽と共に生活していました。今でも休日はピアノを弾いて気分転換をしています。

Q. 県職員になる前に身に付けておいた方がいいことはありますか。

A. 仕事において、コミュニケーションは重要だと感じます。言葉の引き出しが豊富だと、職場の方々とコミュニケーションが取りやすいと思うので、読書や友人との会話等を通して、語彙力を身に付けておくの良いと思います。



★ この職員のインタビューについては、パンフレット・動画にも掲載しています。ぜひご覧ください！